



常任委員会

審査の報告

総務、建設、厚生、文教経済の各常任委員会に付託された議案等の審査経過並びに結果について、3月25日の最終日の本会議において、各委員長よりそれぞれ報告されました。ここに掲載したのは、その報告の概要です。

総務

だれが目標を決めるのか 事務事業評価システム

〔一般会計補正予算〕
地域インターネット基盤整備について委員からは、ホームページを充実させることで対応できるのではないかと意見がありました。執行部からは、ホームページは15年度に、各課単位で情報発信する環境を整え、内容を一新・充実する。ホームページはインターネットの一部分であり、ほかに、行政相談、各種申請、



▲戸田市地域インターネットイメージ図

15年度、全庁的に導入する事務事業評価システムについて、各課1ないし2事業を対象に、所管の担当者が評価シートに基づいて事業評価をする、その評価をもとに課長相当職の管理職が、この事業を進めていくのか縮小するのか、あるいは違う方向で改善するのかを、管理者の立場で一次評価をし、さらに担当

建設

屋上等緑化・生け垣等設置 補助制度のPRを

部長が二次評価をするという点であります。委員からは、各種事業の目標をだれが決めるかによって、目標が低く抑えられることも懸念されるとの意見が出されました。執行部からは、成果指標

等の目標を第三者機関なりで決めていくことは、組織が複雑になり、事業が機能しなくなるおそれがある中で、現段階では第二次評価者である部長が目標を決めていくことを考えているとの説明がありました。

べきではないかとの意見が出されました。**〔一般会計補正予算〕**
道路新設改良費では、平成6年に施行された私道舗装取扱要綱によると、10年間は再舗装できないことになってくるものの、10年を経過した後の対応が明確になっていないことから、取り扱いは明確にすべきであるとの意見が出されました。

〔開発許可の基準に関する条例〕
都市計画法並びに同法施行令の改正に伴い、条例により、開発行為の規模や道路等の技術的基準及び敷地

面積の最低限度等を定めることができるようになったことから、新規制定をするものであるが、委員会では、条例趣旨である良好な住環境をつくるためには、戸田



▲緑化対策でまちのオアシス化を

市宅地開発等指導要綱の早期条例化等も検討する必要があるとして、市当局に對し要望を付しました。**〔市道路線の認定〕**
私道寄付採納制度内容を市民に周知す

緑化対策費では、建築物屋上等緑化奨励補助金交付要綱と、生け垣等設置奨励補助金交付要綱の一部改正について説明を受けましたが、今後、大いにPRに努められるよう要望しました。

厚生

将来の医療保健センターの 方向性は

〔高齢者総合介護福祉条例の一部を改正する条例〕

保険料基準額の上昇理由及び基金の一部を組み入れた理由等の質疑があり、執行部からは、第2特別養護老人ホームの開設等によるサービス供給量の増、及び高齢者人口の増に伴う介護認定者の増加等により、保険料アップとなったが、基金の一部を取り崩すことにより、基準月額を3000円までに抑えることができ

〔15年度一般会計予算〕

たとの説明がありました。児童福祉運営費について、委員から、民間と公立の保育士賃金等の労働条件格差是正のための補助金助成方法を検討すべき、との意見が出されました。保育園費では、給食調理業務委託に関して、新嘗保育園の調理パートの処遇、委託体制、すでに委託している保育園の状況、また、市直営で本業務を実施して



▲医療部門と保健部門が分離されます

る今後の考え方について質疑を交わしました。保健衛生総務費では、医療・保健センター基本構想調査業務に関して、医療部門と保健部門を分離することによる採算面でのメリットの有

文教経済

小学校ALT派遣事業 1校1人体制の協議を

〔一般会計予算〕

土木費・交通安全対策費の不法駐車対策事業は、指定強化地域を定めて実施し、一定の効果を上げていくが、事業所関係の不法駐車が多く、商工会と連携し、事業所の協力を得る方策の検討について意見がありました。

〔一般会計予算〕

教育指導費の携帯用防犯ブザーについては、買い替え時の補助策の検討、児童生徒が常に持ち歩く習慣の指導徹底、保護者・地域に対し防犯ブザーへの関心



▲わかるひとはてをあげて

を高める啓発について意見がありました。教育センター費の小学校ALT派遣事業では、ALT

前定例会で、本事業に関する条例の廃止案が提出されたものの、委員会審査を勘案して撤回された経緯があることから、今後の考え方について説明を求めたところ、検討委員会を立ち上げ、素案を作成し、PTAや子ども会、スポーツ団体等と協議、パブリックコメント制度で市民の意見を聞いた上で原案を作成し、15年度内に議会に上程したいとの答弁がありました。多くの委員からは、改正に関する今後の検討経過は適宜、当委員会に報告するよう意見がありました。